

■ 日本語コミュニケーション学科

科目区分	授業科目	開講学年	単位数		備考
			必修	選択	
言語と社会	異文化コミュニケーションA	1年	2		
	異文化コミュニケーションB	1年	2		
言語と教育	日本語教授法概論A	2年	1		「日本語教授法概論A」を履修して読替
	日本語教授法概論B	2年	1		
	日本語教授法概論C	2年	1		「日本語教授法概論B」を履修して読替
	日本語教授法概論D	2年	1		
	日本語教育実習	3年	4		日本語教授法概論A～Dが各B評価以上であること
	日本語実践教育A	3年		2	8単位選択必修
日本語実践教育B	3年		2		
社会・文化・地域	日本語教育学各論A	4年		2	8単位選択必修
	日本語教育学各論B	4年		2	
言語と心理	第二言語習得理論A	2年		2	8単位選択必修
	第二言語習得理論B	2年		2	
言語	日本語学概論A	2年	1		「日本語学概論」を履修して読替
	日本語学概論B	2年	1		
	日本語学概論C	2年	1		下段の【留意事項】を確認してください。
	日本語学概論D	2年	1		
	音声学基礎A	2年		2	4単位選択必修
	音声学基礎B	2年		2	
	日本語教育文法A	3年		2	
	日本語教育文法B	3年		2	
	日本語学各論A	4年		2	
日本語学各論B	4年		2		
合計			28単位以上		

(「日本語教育機関の告示基準」第1条第1項第13号による)

【留意事項】

「日本語学概論C・D」は2022年度より科目廃止となりますが、以下の科目を履修することで「日本語学概論C・D」を履修したとみなすこととなります。

<対象科目>

[科目区分:言語]の以下のいずれかの科目を履修登録する。

- ・音声学基礎B (2単位)
- ・日本語教育文法B (2単位)
- ・日本語学各論B (2単位)

いずれの場合も各科目群の履修状況を確認し、必ず合計28単位以上を充足するようにしてください。

「日本語学概論C・D」(各1単位)の成績付与ではなく、上記3科目の成績として付与されます。

<例>

以下のように各科目を履修することで [科目区分:言語]の要件を満たすことができます。

- ①「日本語学概論A・B」を修得
- ②「日本語学概論C・D」⇒未修得の場合「音声学基礎B」を修得することで「日本語学概論C・D」を修得したとみなす
- ③「音声学基礎A」(2単位)・「日本語教育文法A」(2単位)を修得＝「4単位選択必修」を満たす